

宮城県隊友会広報

令和5年7月15日

発行所 公益社団法人隊友会 宮城県隊友会事務局

住 所 〒983-0841

宮城県仙台市宮城野区原町 6-1-16

守屋木材(株)内 宮城県隊友会連絡所

TEL・FAX 022-297-5088

E-mail mgrpg041@yahoo.co.jp

HP 「宮城県隊友会」で検索

御 挨 拶

現職の自衛隊員の皆様に、宮城県隊友会について紹介いたします。隊友会は、退職自衛隊員を正会員とする任意加入の組織です。会の活動への参加・不参加も自由です。現役時代に比しかなり緩やかになっていますがの階級の影響も若干残っています。このような中、様々な活動を行っている宮城県隊友会に対する理解の一助となれば幸いです。

会 員

★ 正会員（令和5年3月31日現在）

- 会員数全国計 59,285名（内女性：863名）
 - ① 神奈川 3,343名
 - ② 宮 城 3,184名
 - ③ 千 歳 3,134名
- ・ 女性
 - ① 東京：91名 ②宮城：69名 ③熊本：49名
- ・ 宮城県隊友会は、全国で最大級の正会員で構成されています。宮城を含む上位3個隊友会は所謂ビッグ3と言われています。
- ・ 女性会員数も全国2位で宮城県では隊友会内に女性部会を設置し活動の活発化と女性会員の入会促進を図っています。

★ 特別会員

- 会員数全国2,815名
 - ①神奈川：295名 ②宮城：184名 ③愛知、鹿児島：138名
- ※ 特別会員とは、隊友会の趣旨に賛同した自衛隊OB以外の方々（含法人）です。宮城では村井県知事、菊地県議会議長を始めとする各自自治体の首長、議会議長や有名企業の代表等が会員となっています。

組 織

★ 支部

- 宮城県隊友会の活動の中核は、各支部です。会員は自身の居住地に応じた支部に所蔵しています。支部は、原則として仙台市内各行政区と仙台市以外各市町村を単位としており、合計34個支部があります。（会員が少なく支部活動が困難な所は隣接する支部に統合しています。）

○ 地区支部連合（会）

宮城県隊友会は、2～10個の支部で構成する計6個の地区支部連合（会）を置いています。地域の特性や駐屯地・基地等との関係上、複数の支部が調整して活動する必要がある場合等に機能しています。

★ 組織表

顧問／参与／理事役／監事役		事務局	
総会／理事役会／支部長会			
仙台地区支部	<ul style="list-style-type: none"> ・青葉支部 ・宮城野支部 ・若林支部 ・太白支部 ・泉支部 ・名取支部 	仙南地区支部連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・柴田支部 ・大河原統合支部 (大河原・川崎) ・村田支部 ・蔵王支部 ・白石統合支部 (白石・七ヶ宿)
仙塩地区支部	<ul style="list-style-type: none"> ・多賀城支部 ・塩釜支部 ・七ヶ浜支部 ・利府支部 ・松島支部 		<ul style="list-style-type: none"> ・角田支部 ・丸森支部 ・山元支部 ・亘理支部 ・岩沼支部
仙北地区支部連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・大和統合支部 (大和・色麻) ・大崎支部 ・遠田支部※ ・加美支部 ・大衡支部 ・富谷支部 ・大郷支部 ・栗原支部 	県東部地区支部	<ul style="list-style-type: none"> ・東松島支部 ・石巻統合支部 (石巻・女川)
		県北地区支部	<ul style="list-style-type: none"> ・登米支部 ・気仙沼支部 ・南三陸支部

※遠田支部は涌谷町と美里町

- 各駐屯地・基地との窓口担当支部
 - ▽ 仙台駐屯地 宮城野支部
 - ▽ 霞目駐屯地 若林支部
 - ▽ 多賀城駐屯地 多賀城支部
 - ▽ 大和駐屯地 大和統合支部
 - ▽ 船岡駐屯地 柴田支部
 - ▽ 反町分屯地 松島支部
 - ▽ 松島基地 東松島支部

★ 会 費

- 金額：3,000 円／年
 - ※ 10 年、15 年、20 年分の一括納入可能（10%割引）。
- 軽減措置
 - 76 歳以上の会員の会費は 2,000 円／年に軽減されます。

主 な 活 動

★ 自衛隊諸業務への協力・地域社会への貢献

- 創立記念行事等への協力・参加
- 訓練・競技会等への支援・協力
- 募集・援護情報の提供
- 大規模災害時の家族支援協定の締結
- 災害時の現地情報連絡員の確保
- 自治体との災害時の協力協定の締結、防災訓練への参加
- 地域の安全パトロール、交通安全指導、青少年のスポーツ指導、公共場所の清掃等

★ 隊友紙の配布、防衛講話の開催等

- 会員への隊友紙の無料配布
- 各部隊長等による防衛講話の実施

★ 殉職自衛隊員及び戦没者等の慰霊・顕彰

- 宮城県殉職隊員追悼行事、空自松島基地殉職隊員追悼行事、栗原市及び大崎市に所在する殉職隊員慰霊碑の維持管理等
- 戦没者の慰霊（護国神社、常盤台霊園、各地の慰霊碑）

隊友会入会の意義等

★ 意義

○ 旧職場への応援・支援

昨今、国民の自衛隊への期待や信頼度は極めて高くなっています。かつて自衛隊に奉職してきた我々自衛隊 OB は現職隊員の努力・活躍に大いに敬意を表すると同時に、大変誇らしくも思っています。現職隊員を応援したいという気持ちも自然と湧き上がってきます。しかし個人の力では応援・支援にも限界があります。隊友会員となれば同志が力を合わせて応援・支援することが可能となります。

○ 我が国防衛の一翼への参画

最近の我が国を取り巻く防衛環境は本当に厳しくなっていると認識しています。国防は第一線で戦う自衛隊とそれを支える人が不可欠です。隊友会員は、自衛隊の行動を正しく理解しつつその活動を支えることができる唯一の存在です。また、隊友会員は平素から現職隊員と連携することで自衛隊の最新の動向を理解することもできます。このようにして国防の一翼を担うことができます。

★ その他

○ 地元とのつながりの強化

地元自治体計画の防災訓練、県隊友会や支部計画の諸活動では、自治体の首長・議員、町内会等の役員、自衛隊協力団体の構成員の多くの方々が参加します。これらの機会を通じて地元の方々との繋がりを深めることができます。

※県内の自衛隊出身の首長・議会議員（R5.7.15 現在）

- ・ 宮城県知事 村井嘉浩
- ・ 宮城県議 松本由男
- ・ 仙台市議 菊地崇良
- ・ 東松島市議 井出方明
- ・ 気仙沼市議 今川 悟
- ・ 富谷市議 村上 治
- ・ 利府町議 及川智善
- ・ 亘理町議 鈴木邦昭
- ・ 大和町議 渡辺良雄
- ・ 大郷町議 赤間茂幸

○ 「きょういく」と「きょうよう」の確保

我々は、65歳前後に第2の職場卒業後に危機が到来するといわれています。それは、社会との関わりを持つ機会が大幅に減少することによるものです。人は社会から孤立すると認知症の発症・進行や寿命の短縮が見られるとの研究成果が有ります。

隊友会は諸活動を通じて会員に「今日（きょう）行く（いく）ところ」と「今日（きょう）用（よう）があるところ」を提供し社会とのつながりの維持に役に立っています。

○ 各種サービスの享受

隊友会正会員は、生命保険、傷害保険、がん保険等の各種保険に現役隊員並みの負担で加入することができます。また、各種施設、儀礼、物品の購入等でも会員限定の特権があります。うまく利用すれば隊友会の年会費を上回るサービスを手に入れることもできます。詳しくは、隊友会 HP、隊友会のパンフレットを確認して下さい。

活動紹介

★ 自衛隊に対する協力・支援

○ 創立記念行事等への協力・参加

例年5コ駐屯地の創立記念行事の祝賀会食等を共催



第6師団との協定に基づく記念行事会食(5.4.16)

○ 訓練（競技会）の激励・支援

例年10件程度を支援

- 災害発生時の現地情報連絡員の確保
2 施団区：75 人 6 偵区：27 人
- 大規模災害発生時の隊員家族支援協定
自衛隊家族会とともに、陸自県内全駐屯地、空自松島基地及び宮城地本と協定を締結している。



家族支援協定締結式(1.7)

- 派遣海賊対処行動支援隊参加隊員への激励



2 2 即機連の派遣隊員へ激励品贈呈(5.1.31)

- 募集・援護情報の提供（採用数／提供数）
募集：2 人／4 件 援護 1 人／5 件（R4 年度）

★ 自治体に対する協力

○ 災害時の支援協定の締結

隊友会は平成 22 年 3 月の宮城県を最初に、東日本大震災前までに 7 個自治体、震災後に 13 個自治体、計 20 個の自治体と協定を締結しています。(宮城県及び仙台市は県隊友会本部が、他 18 個自治体は所在する隊友会支部が担当)

○ 防災訓練への参加

県本部及び支部から総合防災訓練等自治体主催の防災訓練に参加。



総合防災訓練：大崎支部(5.6.10)

○ 防衛講話の実施

部隊長等を講師として、自衛隊の現況・取り組み等を聴取しています。



第 4 航空団副司令の防衛講話：東松島支部(5.5.20)

★ 殉職隊員・戦没者の慰霊・顕彰

○ 殉職隊員の慰霊・顕彰

- ・ 仙台駐屯地の宮城県自衛隊殉職隊員追悼行事に供花・参列
- ・ 航空自衛隊松島基地殉職隊員追悼行事に供花・参列
- ・ 大崎市所在の空自殉職隊員慰霊碑の清掃・慰霊祭への参列



空自殉職隊員の慰霊碑の清掃・慰霊：大崎支部(4.9.17)

- ・ 栗原市所在の空自殉職隊員慰霊碑の清掃・慰霊祭への参列及び慰霊碑の修繕・移設工事の実施（修繕・移設は栗原支部が中心となり空自松島基地所属隊員の休日利用のボランティア作業、地元自治体等関係者の協力と浄財で実施）



移設前後の慰霊碑の状況(1.12~2.3)



慰霊祭で碑を確認する参列者：
栗原支部（5.6.21）

○ 戦没者の慰霊・顕彰

- ・宮城県関係戦没者慰霊祭（旧陸軍墓地）：仙台市青葉区）供花・参列
- ・護国神社大祭、英霊奉謝祭への供花・参列
- ・県内各地所在の慰霊碑の清掃・慰霊祭への参列
延べ27か所を12個支部 約180名（R4年度）



松島海軍航空隊記念碑献花祭：東松島支部(5.6.9)

★ 地域社会への貢献

○ 社会奉仕活動

交通安全指導、公共場所清掃、青少年スポーツ指導、防犯パトロール等の地域社会の発展に貢献する奉仕活動を行っています。その規模は延べ約13,800人・時（R4年度）です。



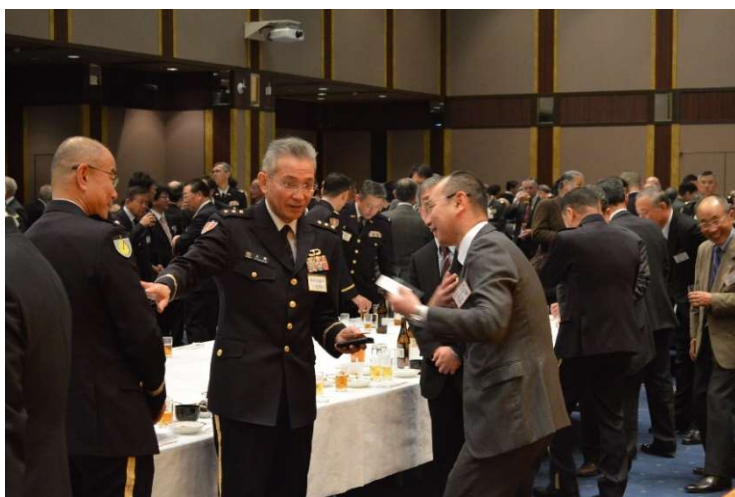
防犯パトロールに対する宮城県警本部長表彰状：山元支部



小学校の清掃奉仕:多賀城支部(4.8. 20)

★ 現職隊員、地元自治体首長等との交流

- 県本部は、県隊友会年次総会後の懇話会や新年祝賀会を主催し、方面総監、6D長以下の現職自衛官、宮城県知事、国会議員、自治体首長、議会議長・議員等 300名を超える規模で意見交換を行っています。



新年祝賀会

- 各支部も支部総会・懇親会、新年祝賀会、芋煮会等を行い自治体等の首長・議会議長・議員等が参加しています。

○ その他

春・秋 2 回のゴルフ大会、各支部主催の有名施設見学会や研修会等を行っています。



東日本大震災・原子力災害伝承館研修：亘理支部（4.11. 9）

令和 5 年度事業計画

令和 4 年度は、当初例年通りの事業を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で大幅な見直しを余儀なくされました。今年度は、例年通りの活動を予定しています。

9 月から 11 月にかけて例年各支部の芋煮会、戦没者慰霊碑等の清掃・慰霊や地域社会への貢献活動が計画されています。

令和 6 年 1 月 21 日には新年祝賀会を計画しています。

各支部の行事特に芋煮会や懇親会への現職隊員の方々の参加を歓迎しています。その場合 **2,000 円** / 人を補助していますのでどうぞご利用ください。参加を希望する方は、近くの会員あるいは本冊子表紙の事務局に連絡して下さい。

参加をお待ちしています。